

報道関係各位

LPI-J No. 20211101

2021年11月1日

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

**LPI-Japan、OpenStack 技術者向けの OPCEL 認定試験「Ver. 3.0」を11月1日にリリース
～ DXの進展に伴いデータ処理性能向上や安定運用などを強化した新バージョンに対応 ～**



オープンテクノロジー技術者認定機関として Linux 技術者認定試験「LinuC（リナック）」などを実施する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン（以下：LPI-Japan、東京都千代田区、理事長 鈴木 敦夫、<https://lpi.or.jp>）は、このたび、OpenStack の技術力を認定する「OPCEL 認定試験」（<https://opcel.org/>）の Ver. 3.0 をリリースすることを発表します。

「OPCEL 認定試験 Ver. 3.0」は、2021年11月1日より受験可能です。また、新バージョン（Ver. 3.0）のリリース後「1年間（2022年10月31日まで）」は、旧バージョン（Ver. 2.0）もご受験いただけます。

【出題範囲改定の背景と特長】

OPCEL 認定試験の初版リリースから6年を経て、OpenStack は安定運用のフェーズになりました。この間、Docker、Kubernetes などのコンテナ技術は急速に進展しましたが、多様化するシステムに対応するにはコンテナだけでは難しく、IaaS を提供できる OpenStack の重要性が見直されています。またDXの促進に伴い、AI、IoT、5G などにより処理データ量も急速に増大しています。このような状況の変化に対応すべく OpenStack の安定した Core 技術に加え、データ処理性能向上のためのアクセラレータ、コンテナの利点を利用したデプロイメントなど安定運用を支える要素を加味して下記の改定を行いました。

- 対応 OpenStack バージョンの変更
 - ・主要 Linux ディストリビューションの長期サポート対応のバージョンに追従
- コンポーネントの追加
 - ・機能レベルの知識として重要性の増した Cyborg および Kolla を追加
- openstack CLI に統一
 - ・非推奨となったコンポーネント名のコマンドは範囲外とし、openstack コマンドに統一
- Placement の位置づけの明確化
 - ・Nova から分離された Placement を Nova 内ではあるが別コンポーネントとして明確化

LPI-Japan 事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング9階 TEL : 03-6205-7025 E-Mail : info@lpi.or.jp

<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org> <https://oss-db.jp> <https://html5exam.jp> <https://accel-exam.jp> <https://opcel.org>

●モニタリング(Ceilometer) の削除

- ・リソース利用管理方法の企業独自化により「モニタリング(Ceilometer)」(旧 251.3)を削除

●重要度の見直し

- ・モニタリング(Ceilometer)削除などで減じた重要度を重要なコア技術 Nova, Neutron に再配

このような特長を有する OPCEL 認定試験を活用いただくことで、企業にとっては幅広いスキルを持ったエンジニアの育成ができ、また技術者にとってはスキルアップやキャリアアップを目指すことができます。LPI-Japan は、より実践的で即戦力となる IT エンジニアの人材育成の支援をまいります。

【改定の概要】

	Ver. 2.0	Ver. 3.0
対応バージョン	Mitaka - Queens	Queens - Ussuri
受験予約サイトの試験表示	試験番号 : OPCEL-200 試験名 : OPCEL 認定試験 [OpenStack の技術者認定試験] バージョン 2.0	試験番号 : OPCEL-300 試験名 : OPCEL 認定試験 [OpenStack の技術者認定試験] バージョン 3.0

※Ver. 2.0 と Ver. 3.0 の差分の詳細は、下記をご覧ください。

https://opcel.org/files/OPCEL_Ver3.pdf

【Ver. 3.0 の出題範囲】

主題	副題	重要度
OpenStack のアーキテクチャとデプロイメント	クラウドコンピューティングの概念	3
	OpenStack のアーキテクチャと設計	7
	OpenStack のインストールとデプロイメント	4
管理・共有サービス	アイデンティティサービス、認証と認可 (Keystone)	6
	ダッシュボード (Horizon) と RESTful API	3
	オーケストレーション (Heat)	3
	イメージサービス (Glance)	8
インフラサービス	ネットワークサービス (Neutron)	9
	コンピュートサービス (Nova)	9
	ブロックストレージ (Cinder)	6
	オブジェクトストレージ (Swift)	2

※Ver. 3.0 の出題範囲の詳細は、下記をご覧ください。

<https://opcel.org/examarea>

【試験予約サイト】

OPCEL 認定試験の受験予約サイト (ピアソン VUE) は、下記をご覧ください。

<https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/OPCEL.aspx>

【登録商標】

・記載されている試験名の固有名称およびロゴは、LPI-Japan が利用許諾を受けた商標または登録商標です。

●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL : 03-6205-7025 / E-mail : press@lpi.or.jp

=====

LPI-Japan について

=====

LPI-Japan は、日本での Linux の技術力認定試験の普及とIT プロフェッショナルの育成のため 2000 年 7 月に設立され、現在は対象を広げ OSS のデータベースソフトウェア、クラウドソフトウェア、および HTML5 のプロフェッショナルのための認定試験を実施する NPO 法人です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの育成、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 (<https://lpi.or.jp>)

法人名: 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地: 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階

連絡先: TEL: 03-6205-7025、e-mail: info@lpi.or.jp

設立: 2000 年(平成 12 年)7 月 28 日

ミッション: オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの育成と価値向上、活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容: IT プロフェッショナルの認定活動を通じた技術者育成と OSS/HTML5 等のオープンテクノロジーの普及・推進

理事長: 鈴木 敦夫

理事: 菅沼 公夫 日本電気株式会社

中野 正彦 サイバートラスト株式会社

片桐 和宣 株式会社日立製作所

松下 文男 富士通株式会社

丸茂 晴晃

監事: 寺本 振透 九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー:

=====

LPI-Japan 事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階 TEL : 03-6205-7025 E-Mail : info@lpi.or.jp

<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org> <https://oss-db.jp> <https://html5exam.jp> <https://accel-exam.jp> <https://opcel.org>

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援する企業です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー：

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS マーケットの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan アカデミック認定校：

OPCEL： <https://opcel.org/training>

LinuC(リナック)： <https://lpi.or.jp/school/list/>

OSS-DB 技術者認定試験： <https://oss-db.jp/learning>

HTML5 プロフェッショナル認定試験： <https://html5exam.jp/measures/learning.html>

LPI-Japan 認定教材 (LATM)：

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

LinuC(リナック)： <https://lpi.or.jp/linuc1/book.shtml>

OSS-DB 技術者認定試験： <https://oss-db.jp/learning>

HTML5 プロフェッショナル認定試験： <https://html5exam.jp/measures/textbook.html>